

港北支部長 能城 順一（S58年卒）

港北支部は、小学校25校、中学校9校、特別支援学校が1校あり、校内会員は約135名、校外会員は約55名となっています。毎年7月末に会費納入のご案内をさせていただいておりますが、思ったようには進んでいかない状況があり、大変申し訳なく思っております。

さて、港北区は、横浜市の中でもっとも人口の多い区で、平成28年現在、約33万人の人口となっています。区内を東西に鶴見川が流れ、新幹線の新横浜駅完成後、横浜の副都心として発展し、日産スタジアムや横浜アリーナ等、広く知られる有名な施設があります。また、新幹線・東急東横線・JR横浜線・地下鉄ブルーライン・グリーンライン等の鉄道網に加え、第三京浜・環状2号線等の自動車専用道路・幹線道路の交通網も整備されています。これらの交通の利便性に優れた港北区は、今後ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピック等の様々な一大イベントと共にさらなる発展が期待される区です。

港北区の活動状況は、残念ながらあまり活発ではないのが現状です。平成27年度に前任の支部長から引き継い

で、支部長をさせていただいておりますが、ここ数年は「支部総会」を開催することができていません。私もそうですが、管理職の会員は、土日も学校行事や地域行事があることが多く、それに加え、現在の教育界の現状から多様な対応に追われています。OB会員の皆様には、大変申し訳ない状況が続いており、支部長としての力不足を感じております。

しかし、教育界においては、さらなる厳しい状況が続くであろうと予想されるからこそ、友松会が「心の故郷」として、特に若い会員が困っている時や悩んでいる時に相談できるような温かさのあふれる支部にしていかなければならないという思いももっております。支部長会でも、いつも役員の皆様から「まずは、顔の見える関係を」という励ましのお言葉をいただいております。平成29年度は、是非ともここ数年開催できていない「支部総会」の開催に向けて、計画的に取り組んでいこうと考えております。